

---

リハビリテーション科診療2017年第1号(通刊17号)2017年論文

「リハビリテーション指導とガランタミン投与により

言語機能改善が示唆された意味性認知症の1例」の訂正について

独立行政法人 地域医療機能推進機構 滋賀病院脳神経内科 阪上 芳男

本論文の 2 ページの検査結果において「ビタミン B1, B12 正常」と記載しましたが、今回扱った症例の検査結果を見直したところ、実際にはビタミン B12 (以下 B12) が 2620pg/mL と上昇しておりました。この誤りに対してお詫び申し上げるとともに、記載を「ビタミン B1 正常, B12 上昇 (2620pg/mL)」と訂正させていただきます。

なお、高 B12 血症の鑑別としてサプリメントの服用のほかに慢性骨髄性白血病などの血液疾患や肝細胞癌などがあげられます<sup>1)</sup>が、本例においてはサプリメントの服用歴は無いものの前述したような B12 上昇をきたし得る重篤な疾患を示唆する所見は認めず、再検査にても同程度で推移していたため本例の認知機能経過に大きく作用するものではないと判断しております。

この度は貴誌の信用にかかわる記載ミスがあり、大変申し訳ありませんでした。重ねてお詫び申し上げますとともに、今後このようなことが無いよう、厳重に注意致します。

#### 参考文献

- 1) Arendt JF, Nexø E: Unexpected high plasma cobalamin : proposal for a diagnostic strategy. Clin Chem Lab Med. 2013 Mar 1;51(3):489-96.

#### 編集委員会コメント

著者からの上記申し出に対し、編集委員会で検討したところ、論文の有効性は損なわれないと判断され、本号に訂正記事を掲載することとなった。